

# Twitter を用いた言語研究の可能性について

## —「新しいミ形」という現象から—

人間文化課程 アジア文化コース 日本語学ゼミナール

13H1071 高橋梢

### 〈要旨〉

#### 1. 本研究の目的

Twitter は豊富な言語データが集積されており、新たな言語資料として日本語研究に役立つ可能性がある。しかし、サービスが始まってから日が浅いこともあり、Twitter を日本語研究に活かす方法は確立していない。どうすれば Twitter 上の大量の言語データを活かすことができるだろうか。Twitter を用いた言語研究については五味伸之ほか(2011)や岡田(2013)があるものの、専門の知識を要したり現状では利用できないサービスであったりするという問題がある。本論文ではこういった問題を解決するために、より手軽に Twitter を用いてデータ収集するための方法を模索したいと考え調査を行った。また、実際にそれらの方法を用いて、どのように用例を収集し言語研究に活かせるか、ケーススタディとして近年 Twitter 上で見られる「つらみ」「さむみ」のような、従来ミ形のなかった語（「新しいミ形」と呼ぶ）をとりあげ、その用法や形態について考察した。以上のように、Twitter による言語データの収集方法の提示、およびそれを用いた言語現象の考察を通して、Twitter を用いた言語研究の可能性を示すことが本研究の目的である。

#### 2. ツイート検索サービス

ツイートのデータ収集の方法として、次の二つを紹介した。一つ目は「yahoo!リアルタイム検索」という yahoo!が運営する Twitter 検索サービスを利用する方法である。「yahoo!リアルタイム検索」は、検索窓に検索語を入力すると過去 30 日分の該当ツイートが表示され、指定した期間での検索や該当ツイートの件数の表示もされる。サービス開始当初まで遡ってデータが収集できれば、言語データを集めるためのツールとして非常に画期的なサービスとなりそうである。二つ目は公式の検索画面で、期間を指定して検索する演算子を用いる方法である。これは Twitter の公式画面において、「検索語 since:年-月-日 until:年-月-日」と入力すると、期間を指定して検索語を含むツイートを検索することができるというものである。Twitter のサービス開始時から現在に至る全てのツイートを検索可能であり、過去に遡ってデータを収集したい際に便利である。

#### 3. 新しいミ形の現状

実際に上記の方法を用いて「新しいミ形」について調査を行った。まず、新しいミ形の

使用頻度について調査した。調査にあたっては先行研究の宇野（2015）が紹介している 9 語を用い、2016 年 7 月 11 日～2016 年 7 月 17 日の 7 日間を調査した。なお（ ）内の数字はそれをもとに 1 年間のツイート概数を算出したものである。

可愛み	247 (11856)
怖み	334 (16032)
寒み	72 (3456)
酸っぱみ	31 (1488)
切なみ	128 (6144)
つらみ	39320 (1887360)
眠み	6576 (315648)
眠たみ	481 (23088)
ひどみ	81 (3888)

先行研究の調査では、2006 年 3 月から 2014 年 5 月までの新しいミ形を含む総ツイート件数が 14606 件であった。その結果と比較すると、1 年間のツイート数はおおよそその数字であるにしろ、新しいミ形の使用はここ数年でかなり増加したといつてよい。

#### 4. 従来のミ形

新しいミ形の特徴を明らかにするために、まずは従来のミ形とはどのようなものなのか説明を加えたい。

従来のミ形とは、形容詞が接尾辞ミによって名詞化されたものである。接尾辞ミは似た はたらきをもつ接尾辞サと比較すると接続できる形容詞の範囲が狭く、意味も限定されている。先行研究によれば従来のミ形は次の 3 つのはたらきをもつ。I. ミの接続した形容詞の持つ性質・状態の程度や様子を表す、II. ミの接続した形容詞の持つ性質を有した「場所」であることを表す、III. 主体が持つ具体的な感覚を表す、という 3 つである。

加えて新しいミ形と従来のミ形について、どのような形容詞と結びついているのかという点から比較するために、形容詞分類の基準を立てた。ものの状態や性質を表す特性形容詞、主に人の動作や性格を対象にとりその外面的な状態を表す評価形容詞、明確な対象が存在しない、あるいは出来事やものなどを対象にとる感情形容詞、主に自身の身体部位を対象にとる感覚形容詞の 4 つに分類する。この分類をもとに、従来のミ形がどういった形容詞と結びつきやすいのか調査を行ったところ、特性形容詞と多く結びついていることが判明した。

#### 5. 新しいミ形の分類

新しいミ形の用例を調査したところ、新しいミ形には大きく 3 つの特徴があることが判明した。感情形容詞を中心として特性形容詞以外のタイプの形容詞から派生するもの、感情形容詞に準じるような願望を表す「たい」からも派生するものであること、従来のミ形も用法として新しいミ形のような使われ方がなされるようになっていること、の 3 つであ

る。

先行研究において新しいミ形は基本的にサ形と置き換えることができると言われていた。しかし今回の調査の結果、新しいミ形の部分をサ形と置きかえると文意は通るが不自然である用例が多数あることが明らかになった。よって新しいミ形とサ形には先行研究で言及されているほど、関連が深い訳ではないと思われる。むしろ用例のバリエーションを見ても、本来ミ形をとらなかつた形容詞をあえてミ形化したものが新しいミ形であると考えた方が自然である。

前章で提示した形容詞の分類基準を使い、調査に用いた 10 語の語基となる形容詞を分類した結果、以下のようになった。

評価形容詞...かわいい、尊い

感情形容詞...嬉しい、しんどい、だるい、つらい、ほしい、やばい

感覚形容詞...寒い、眠い、

やや感情形容詞を語基とするものが多いが、特性形容詞以外の形容詞全てにそれぞれ新しいミ形が存在していることが分かる。このことから、新しいミ形は従来ミ形をとらなかつた形容詞をあえてミ形化したものと考えるのが妥当と考えられる。

次に助動詞「～たい」のミ形について見ていこう。「～たい」がミ形化したものの例としてよく見かけるものには「～したみ」「やりたみ」「帰りたい」「行きたみ」「食べたみ」「死にたみ」などがあるが、それぞれ用例数を調査したところ、形容詞ミ形と比較してもかなり使用数が多いことが分かった。初出を調査したところ、形容詞派生の新しいミ形が 2009 年であったのに対し、「～たい」のミ形は 2010 年であったことから、形容詞派生のものよりあとになって生まれたものであると分かる。

最後に新しいミ形的に用いられた従来のミ形についてであるが、これは「研究所レアでないと不味くて悲しみ(´; ω ;`)(2016 年 9 月 8 日)」のようなもので、用例数としては上記 2 つに比べるとかなり少ない。また従来のミ形の誤用との区別も難しい。

## 6. 新しいミ形の名詞的用法と述語的用法

成立後現在に至るまで新しいミ形のバリエーションがどのように生まれたのかについて考察するために、文レベルから新しいミ形の考察を試みた。新しいミ形を文中でどのように用いられているかによって分けると、大きく名詞的用法と述語的用法とに分けることができる。調査によれば、いずれも新しいミ形が成立した当初から存在していた。ミ形は本来述語になることはないため、これは従来のミ形と新しいミ形の大きな違いであるといえる。新しいミ形における述語的用法の存在は、形容詞派生の新しいミ形が登場したあとに、「～たい」のミ形が現れたことや、従来から存在したミ形にも述語的用法が現れたこととも関連すると考えられる。

## 7. まとめと考察

Twitter上のデータを過去に遡って検索する方法として「Yahoo!リアルタイム検索」と公式の過去ツイート検索演算子を用いる方法を紹介した。いずれも特に専門的な知識がなくとも誰でも手軽に実践できる方法である。

また、上記の方法を用いて新しいミ形についてその用法や形態について調査・考察を行った。その結果新しいミ形は、従来ミ形の存在しなかった形容詞のミ形化にはじまり、その用法やバリエーションを拡大させたことが分かった。その背景には接尾辞ミのもつ「主体の持つ具体的な感覚を表す」というはたらきが関係しているのではないかと推測できる。Twitterはリプライ機能を用いて他のユーザーと会話することもできるが、主には個人的なつぶやき、いわばひとり言を投稿する場である。よってツイートの内容は必然的に個人的な感想や意見といった内容になるため、接尾辞ミを付加することで語の主観性を強めると同時につぶやき全体の主観性を強めたのではないだろうか。

ただし、新しいミ形がある程度定型化したり、バリエーションが増えて様々なかたちで用いられたりしていることをふまえると、新しいミ形の成立となった背景の要素は薄まっており、今となってはTwitter上における集団語あるいは流行語のようなものとして使用されているのではないかと考えられる。

以上、本研究ではTwitterを用いた言語研究の可能性の一端を示した。具体的な実践例として、Twitter特有の言語現象である新しいミ形を取り上げたが、その他にもTwitter登場後に使用されるようになったことば、例えば新語・流行語の研究や、ある特定の語彙が現在どのように使用されているか、その用例を収集したい場合などに本研究で紹介した方法が利用できるだろう。今後、さらなる研究によって新たな可能性が拓かれていくことが期待される。

### 【調査資料】

Yahoo!リアルタイム検索 (<https://search.yahoo.co.jp/realtime>)

Twitter (<https://twitter.com/>)

### 【参考文献・URL】

- 新屋映子 (2006) 「形容詞派生の名詞「～さ」を述語とする文の性質」『日本語の研究』2-4 日本語学会
- 宇野 和 (2015) 「Twitterにおける新しいミ形」『国文』123 お茶の水女子大学国語国文学会
- 岡島昭浩 (2011) 「ウェブ検索の応用」『講座 IT と日本語研究 6 コーパスとしてのウェブ』明治書院
- 岡田祥平 (2013) 「twitter を利用した新語・流行語研究の可能性-アイドルグループ「Sexy Zone」の略語を例に-」『新潟大学教育学部研究紀要 人文・社会科学編』6 新潟大学教育学部
- 小野正弘 (2011) 「ウェブ検索概論」『講座 IT と日本語研究 6 コーパスとしてのウェブ』明治書院
- 五味伸之・辰巳暢・新田優喜 (2011) 「Twitter を利用した言語形態の変化についての研究」『福井工業高等専門学校研究紀要 人文・社会科学』45 福井工業高等専門学校

- 細川英雄 (1989)「現代日本語の形容詞分類について」『國語學』158 日本語学会
- 西尾寅弥 (1972)『形容詞の意味用法の記述的研究』秀英出版
- 前川喜久雄 (2007)「コーパス日本語学の可能性-大規模均衡コーパスがもたらすもの-」『日本語科学』22  
国書刊行会
- 八亀裕美 (2003)「形容詞の評価的意味と形容詞分類」『阪大日本語研究』15 大阪大学大学院文学研究科  
日本語学講座